

## ●第12回 NCLセミナーのご案内●

### 「創造する脳～手と人間の歴史と未来」(講演とワークショップ)

●日時) 2013年11月8日(金) 13:00～17:30

●会場) 東京都写真美術館 創作室 (東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内)

#### ●趣旨)

身体的に劣る人類が生き延びることが出来たのは、進化の過程で、二足歩行とともに自在に使いこなすことが出来る手を獲得し、その延長として、道具や技術を開発したからと考えられています。

しかし、それは脳との共進化の賜物です。手や道具を使いこなすには優れた脳が必要です。一方で、優れた脳は手を含めたよい道具があつてはじめて育ちます。これが共進化です。

今回のセミナーでは、長年、手と脳の研究に携わってこられた神経学の医師でありノンフィクション作家でもあるフランク・R・ウイルソン先生をお招きし、ご講演ならびにワークショップのご指導をお願いしました。

このセミナーでは、皆様に、人類の手がモノを創り出すことができる如何に優れた道具であり、それを使いこなす脳が如何にすばらしいかを実感していただきます。

一方で、現在、私たちを取り巻いている道具や機械が、脳の発達にどのような影響を与えているかも考えなければなりません。生物の生き残り戦略や人類のさらなる進化のために、今、私たちは子どもたちのために何を伝えていかなければならないのでしょうか。手から生まれる創造性やコミュニケーションの未来についても一緒に考えていきたいと思ひます。

#### ●プログラム)

第一部 講演「手の創造的なはたらき(仮題)」(英語、通訳あり)

第二部 ワークショップ「手が創作する物語(仮題)」

男女で異なる手、職業で異なる手、民族で異なる手、様々な手の写真を題材に、身近にある材料を使って、言語を使わない手によるコミュニケーションで、チームで一つの物語を創作していきます。詳しくは当日をお楽しみに。

#### 講演者のご紹介

フランク・ウイルソン先生(Frank Rupp Wilson, 1938年生)は、カリフォルニア医科大学に勤務された神経学者で臨床医。手を傷めた音楽家の治療にあたった経験と、ピアノ演奏を学んだ経験とから、卓越した手技の持ち主と身体と脳の関係に関心をもちはじめた。

コロンビア大学とカリフォルニア医科大学サンフランシスコ校を卒業。カリフォルニア医科大学サンフランシスコ校の「パフォーマンスアーティストのためのピーター・F、オストワルド・ヘルスプログラム」の医学ディレクターを務める。

